

## 令和3年度

トラック輸送における取引環境・労働時間改善  
熊本県地方協議会における取り組み報告について

---

令和4年3月8日  
熊本県地方協議会 事務局  
九州運輸局 熊本運輸支局  
熊本労働局  
(公社) 熊本県トラック協会

1. これまでの振り返りについて  
…P2~4
2. 対象輸送分野（①加工食品、飲料・酒、②農産物）  
における取り組みについて  
…P6~9
3. その他取り組みについて  
…P11~13
4. 重点取組事項のPDCAシートについて  
…P15~17

## 【振り返り】これまでの熊本県地方協議会の取り組み

### 熊本県地方協議会の経緯

- トラック運送事業の取引環境の改善及び長時間労働の抑制を実現するための環境整備を図ることを目的に平成27年度に設置
- 平成27年度から令和2年度までに12回開催

※「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（働き方改革関連法）」に基づき、令和6年度からトラック運転者の時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえ、**長時間労働の改善と生産性向上の取り組みを、荷主と連携し加速させる必要がある。**

### パイロット事業（実証実験）の実施

【平成28年度】 下ろし地域内配送の外部委託による労働時間削減  
(荷種) 青果物

【平成29年度】 倉庫内作業と積込方式の変更による作業時間短縮  
(荷種) 住宅設備機器

### アドバンス事業（実証実験）の実施

【令和元年度】 パレット化による労働時間短縮  
(荷種) 青果物

### 生乳物流の改善に係る実証実験の実施

【令和2年度】 バース使用時間帯の計画配分などによる待ち時間削減  
(荷種) 生乳

## 令和3年度 検討の対象とする輸送分野

通達

令和3年度の「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」の実施事項について

(令和3年7月9日 厚労省労働条件政策課長、同監督課長、国交省貨物課長 通達より一部抜粋)

(1) 今年度の輸送分野別の検討について

### ① 対象輸送分野

各地方協議会事務局は、これまでの地方協議会での課題整理や過去の実証事業を通じて浮き彫りとなった課題、輸送分野ごとに顕在化している課題等に対し、**1つ以上の輸送分野**における課題の整理及び課題に対する改善策の活用等を検討すること。検討の対象とする輸送分野は、**各地方の状況に応じ、次の(ア)～(オ)のいずれかより選定**すること。

- (ア) 令和元年度に実施した待機時間・附帯作業に関する調査の都道府県別の結果に基づき、各都道府県における待機時間が特に長い輸送分野
- (イ) 令和2年度に実施した稼働効率に関する調査の輸送品目別及び都道府県別の結果に基づき、各都道府県における積載効率の改善が必要な輸送分野
- (ウ) 過去の実証事業のフォローアップを実施する必要があると考えられる輸送分野
- (エ) 「加工食品、飲料・酒」、「建設資材」及び「紙・パルプ」の中で、各輸送品目別のガイドラインで示した『今後の取組みの方向性』に沿って取組を行う輸送分野
- (オ) 各地方協議会事務局が取扱事項として特に必要と認めた輸送分野

対象輸送分野(検討対象分野)を

「加工食品、  
飲料・酒」

及び

「農産物」

とする。

－ 選定理由 －

- ① 荷待ち時間の発生件数が多い
- ② ガイドライン※の周知を図る必要

－ 選定理由 －

- ① 令和元年度に実証実験
- ② 九州農政局、JA熊本経済連の取り組み

※令和2年5月29日「加工食品物流編」を策定

令和3年4月27日 飲料・酒を追加し、「加工食品、飲料酒物流編」へ改訂

<ガイドラインの掲載HP>

・ [https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk4\\_000106.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000106.html)

## 令和3年度 熊本県地方協議会 対象輸送分野に係る取り組み

### <基本的考え方>

- ・令和6年度に向け、「加工食品、飲料・酒」「農産物」を主眼に検討・取り組みを進める（必要に応じ見直し）

### <具体的な取り組みの方向性>

- ・「**加工食品、飲料・酒**」については、ガイドラインの浸透を図る取り組みが必要

#### 加工食品等

- ・関係する運送事業者（熊本県トラック協会食料品部会加盟事業者を想定）へガイドラインを送付し、周知を図る。
- ・ガイドライン送付時にアンケートを実施。
- ・アンケートの回答結果を基に選定した運送事業者、荷主等へのヒアリングを実施する。

➡ ガイドラインの周知、県内の現状・課題の把握

- ・「**農産物**」については、関係者で意見・情報交換をしながら取り組みを進めていく

#### 農産物

- ・農産物輸送に関係する行政機関・荷主団体・運送事業者団体において輸送の効率化への事業・施策に取り組んでおり、当該関係者の情報共有・意見交換を行う場（実務者レベル）を設ける。  
※農産物輸送効率化のための意見交換会（仮称）

➡ 農産物輸送の効率的・効果的な取り組み（次年度以降の実証実験等）を検討



#### 関係者（予定）

JA熊本経済連  
熊本県トラック協会  
熊本運輸支局  
九州農政局

第13回熊本県地方協議会（令和3年9月7日付け書面開催）にて了承

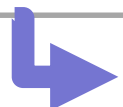
1. これまでの振り返りについて  
…P2～4
2. 対象輸送分野（①加工食品、飲料・酒、②農産物）  
における取り組みについて  
…P6～9
3. その他取り組みについて  
…P11～13
4. 重点取組事項のPDCAシートについて  
…P15～17

<具体的な取り組みの方向性>

・「**加工食品、飲料・酒**」については、ガイドラインの浸透を図る取り組みが必要

加工食品等

- ・関係する運送事業者（熊本県トラック協会食料品部会加盟事業者を想定）へガイドラインを送付し、周知を図る。
- ・ガイドライン送付時にアンケートを実施。
- ・アンケートの回答結果を基に選定した運送事業者、荷主等へのヒアリングを実施する。



ガイドラインの周知、県内の現状・課題の把握

<取り組み内容>

## ①ガイドライン（※1）の周知・アンケート及びヒアリング

- ・熊本県トラック協会食料品部会加盟事業者を中心にガイドラインを送付（令和3年12月3日）
- ・ガイドラインの送付時にアンケートを実施（～令和3年1月）
- ・アンケートの回答結果等を基に選定した運送事業者、荷主等へのヒアリングを実施（令和4年2月）

アンケート結果 (概要)	①送付事業者数	112社	—
	②アンケート回収事業者数	31 / 112社	27.7%
	③ガイドラインの認知度	5 / 24社 (※2)	<b>20.8%</b>
	④ガイドライン活用率 (※3)	4 / 5社	<b>80.0%</b>
	⑤ガイドライン活用可能性 (※4)	13 / 19社	<b>68.4%</b>



**認知度は低いが活用率、活用可能性は非常に高い。更なる周知が必要。**

アンケート等結果の詳細は別添資料2のとおり

※1:「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン加工食品、飲料・酒物流編」

※2:アンケート回収事業者31社のうち、加工食品、飲料・酒を輸送している事業者数は24社

※3:ガイドラインを認知していた事業者でガイドラインを参考に改善を行った事業者数

※4:ガイドラインを認知していなかった事業者でガイドラインを参考にすると改善に取り組みそうと考えている事業者数

## ②「物流改善に向けたガイドラインセミナー」の周知

- ・国土交通省が主催した「加工食品、飲料・酒」分野を含む4分野に係るガイドラインセミナーについて 地方協議会委員（傘下会員含む）あて周知を実施（令和3年10月22日）
- ・取り組み①（P6）のガイドライン送付時にガイドラインセミナーの開催案内を同封（令和3年12月3日）



「物流改善に向けたガイドラインセミナー」を開催します！

～「加工食品、飲料・酒」「建設資材」「家庭紙」「洋紙・板紙」4分野で開催～

### 物流改善は荷主の生産性向上にも繋がります！

このセミナーによって、物流における社会的課題への理解を深めて頂くとともに、日ごろお付き合いのある荷主と運送事業者同士が、お互いのために一緒に考えて考えるきっかけになれば幸いです。

※ 無料・オンラインで開催しますので、他分野の業界の方も含めて、気軽にご参加ください！

- 「働き方改革関連法」による時間外労働の罰則付き上限規制が、トラック運送事業についても2024年4月から年960時間を上限として適用されます。
- しかし、慢性的なドライバー不足や長時間労働の実態を踏まえると、上限規制を遵守しながら現在と同水準の物流を確保することは困難です。
- このため、持続可能な物流の確保には、荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けた取り組みが必要です。
- 国土交通省では、荷待ち時間の件数が特に多かった輸送分野（「加工食品、飲料・酒」「建設資材」「紙・パルプ（家庭紙）」「紙・パルプ（洋紙・板紙）」）について、各分野特有の課題を洗い出し、解決策を整理した分野別ガイドラインを取りまとめました。
- 本セミナーでは、各ガイドラインの解説や、荷主と運送事業者が協力して取組んだ事例を中心に紹介いたします。

### 【セミナー概要】

- |                  |   |     |              |                 |
|------------------|---|-----|--------------|-----------------|
| 1. 日             | 時 | 第1回 | 令和3年12月9日（木） | 「建設資材」分野        |
|                  |   | 第2回 | 令和4年1月28日（金） | 「加工食品、飲料・酒」分野   |
|                  |   | 第3回 | 令和4年2月1日（火）  | 「紙パルプ（家庭紙）」分野   |
|                  |   | 第4回 | 令和4年2月18日（金） | 「紙パルプ（洋紙・板紙）」分野 |
| ※ 各回 13:00～15:10 |   |     |              |                 |

- 主 催： 国土交通省（運営事務局：㈱富士通総研）
- プログラム：
  - ① 最近の物流政策について
  - ② SIPSスマート物流サービス概要紹介
  - ③ 分野別ガイドラインの解説
  - ④ 取組事例の発表
- 参加費： 無料
- 開催会場： オンライン
- 申し込み： 本セミナー事務局の㈱富士通総研ホームページから申し込み

### 取組事例 講演企業情報

- 空気を運ばない！ ～異業種共同輸送による未来の物流のカタチ～  
重さやサイズの異なる製品の混載スキームを確立し、関東～九州間での共同輸送を実施  
アサヒ飲料株式会社
- ～持続可能な加工食品物流に向けて～ 簡易な検品レスの取組み  
事前出荷情報（ASN）を活用した「検品レス」の取組をより広く普及できるモデルに再構築  
キユーピー株式会社



<具体的な取り組みの方向性>

・「**農産物**」については、関係者で意見・情報交換をしながら取り組みを進めていく

農  
産  
物

・農産物輸送に関係する行政機関・荷主団体・運送事業者団体において輸送の効率化への事業・施策に取り組んでおり、当該関係者の情報共有・意見交換を行う場（実務者レベル）を設ける。  
※農産物輸送効率化のための意見交換会（仮称）

関係者（予定）

JA熊本経済連  
熊本県トラック協会  
熊本運輸支局  
九州農政局

農産物輸送の効率的・効果的な取り組み（次年度以降の実証実験等）を検討

<取り組み内容>

## ◆農産物輸送効率化のための意見交換会の開催

【概要】

◇構成員

- JA熊本経済連 ○熊本県トラック協会（運送事業者）
- 熊本運輸支局 ○九州農政局

◇開催日 第1回：令和3年11月30日、第2回：令和4年1月14日

◇開催場所 熊本運輸支局

◇内容

- ・構成員の取り組み内容の情報共有
- ・共同配送、パレット化についての意見交換
- ・次年度の実証実験についての意見交換 等

取り組み結果

次年度の実証実験案（トマトのパレット化）のとりまとめ（※詳細はP9のとおり）



1. これまでの振り返りについて  
…P2～4
2. 対象輸送分野（①加工食品、飲料・酒、②農産物）  
における取り組みについて  
…P6～9
3. その他取り組みについて  
…P11～13
4. 重点取組事項のPDCAシートについて  
…P15～17

## <取り組み内容>

### ①「ホワイト物流」推進運動セミナーの周知

・国土交通省が開催した「ホワイト物流」推進運動セミナー（詳細はP5参照）について、地方協議会委員（傘下会員含む）あて周知を実施（令和3年10月4日）

「ホワイト物流」推進運動

【事前申込制】【参加費無料】【オンライン開催(zoom)】

## 「ホワイト物流」推進運動 セミナー

～物流生産性向上に向け荷主企業が推進する取組とは～

「ホワイト物流」推進運動は、トラック運転者不足が深刻になっていることに対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に役立つことを目的としています。

この「ホワイト物流」推進運動の周知及び取組を促進するため、オンラインセミナーを開催します。

今年度のセミナーでは、物流改革の重要な役割を担う荷主企業向けに、物流改革に向けた荷主の役割・期待について、取組内容や事例を改めて解説します。

また、「ホワイト物流」推進運動に取組まれている事業者の方に、苦勞談も交え事例発表いただきます。

【開催日、講演企業詳細は、裏面参照】  
ぜひ、ご参加ください。

---

#### セミナープログラム(予定)

主催者：国土交通省

1. 「ホワイト物流」推進運動の紹介
2. 最近の物流政策について（仮）  
最近の物流政策等について発表。 国土交通省
3. 物流効率化への取組  
～荷主だからできること、取組んで欲しいこと～ 富士通総研
4. 取組事例の発表  
物流改革に取り組まれた事業者が、業務内容と成果・苦勞談を発表。 講演企業詳細は裏面をご覧ください

※セミナープログラム終了後、質疑応答を行う時間を15分程度設けます。

---

#### お申込み

インターネットでのお申込みとなります

「ホワイト物流」推進運動のホームページから、**お1人ずつ**お申込みください。

- お申込みURL：  
[https://white-logistics-movement.jp/archives/join\\_20210816/](https://white-logistics-movement.jp/archives/join_20210816/)

お申込みの流れ

- ①「セミナー申込」ボタンを押して下さい。
- ②申し込みページに、希望するセミナー日程、必要事項を入力し、「送信ボタン」を押して下さい。
- ③入力いただいたメールアドレス宛に、参加受付メールを送信いたします。  
※メールが届かない場合は、下記事務局宛に、お問合せ下さい。

注1：お申込みは、変更し兼ねるため、締切をさせていただきます。なお締切時刻は、ホームページにて随時更新いたします。

注2：ご不明な点がある場合は、下記事務局宛に、お問合せ下さい。

- 注意事項：  
参加方法などは、セミナー開催日前日までに、受講者の方へご案内いたします

ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ窓口へ、ご連絡下さい。

事務局：株式会社 富士通総研  
担当：沖原 竜彦(かめのみ) 田村  
電話：03-6424-6754

#### セミナー日程と講演企業詳細

回	開催日時	講演企業
第1回	令和3年10月8日(金) 13:00～15:55 12:30 会場オープン	●サステナブルな物流体制の構築へ 大王製紙株式会社 ●当組合が取組んだ「物流改革」について つばさトラック事業協同組合
第2回	令和3年11月10日(水) 13:00～15:55 12:30 会場オープン	●積品レスの拡大による物流効率化の推進 加藤産業株式会社 ●自動化・省人化への取組みと“はこび”プラットフォームの創造 トランコム株式会社
第3回	令和3年12月8日(水) 13:00～15:55 12:30 会場オープン	●段ボール輸送における物流改善について レンゴー株式会社 ●当組合が取組んだ「物流改革」について つばさトラック事業協同組合
第4回	令和4年1月19日(水) 13:00～15:55 12:30 会場オープン	●野菜・花きにおける物流生産性向上への取組み 熊本交通運輸株式会社 ●みんなつながる、新しい物流のカチ -社会課題の解決に向けたNLJの取組み- NEXT Logistics Japan 株式会社
第5回	令和4年2月9日(水) 13:00～15:55 12:30 会場オープン	●調整中 アサヒビール株式会社 ●自動化・省人化への取組みと“はこび”プラットフォームの創造 トランコム株式会社
第6回	令和4年3月9日(水) 13:00～15:55 12:30 会場オープン	●北海道地区モーダルシフトによる持続可能な物流の実現 株式会社ホンダアクセス ●みんなつながる、新しい物流のカチ -社会課題の解決に向けたNLJの取組み- NEXT Logistics Japan 株式会社

●開始30分前より、オンラインセミナー会場へお入りいただけます。  
●参加方法などは、セミナー開催日前日までに、受講者の方へご案内いたします

「ホワイト物流」推進運動 公式Twitter @whitelogi

物流生産性向上に向けた取組を行い、実感した効果、感動した体験のツイートを募集中  
#ホワイト物流推進運動 をつけてツイートしてください。

協議会の委員として  
参画頂いている  
熊本交通運輸(株)  
からの事例発表

11

## <取り組み内容>

### ②標準的な運賃の普及

#### ◇普及・活用のためのセミナーの開催（熊本県トラック協会）

- ・令和3年4月17日 運賃普及セミナー 熊本県トラック協会鹿本(植木地区)支部（11名）
- ・令和3年4月24日 運賃普及セミナー 熊本県トラック協会鹿本(鹿本地区)支部（6名）
- ・令和3年5月21日 運賃普及セミナー 熊本県トラック協会熊本南支部（8名）
- ・令和3年5月26日 運賃普及セミナー 熊本県トラック協会宇城支部（9名）
- ・令和3年7月20日 標準的な運賃活用セミナー（基本編） グランメッセ熊本（47名）
- ・令和3年9月24日 標準的な運賃活用セミナー（応用編） グランメッセ熊本（21名）

※（ ）書きは参加者数

※5月26日は熊本運輸支局も参加

#### ◇県内荷主企業等への協力要請書の送付（熊本県トラック協会）

- ・令和3年12月に県内荷主企業等3,000社に対して  
協力要請書（熊本運輸支局との連名）の送付



#### ◇テレビ、ラジオCM等によるPRの実施（熊本県トラック協会）

- ・テレビ局：KKT、RKK、TKU、KAB 放送時期：11月～2月 放送本数：毎月30本前後
- ・ラジオ局：RKK、FMK、シティFM 放送時期：11月～2月 放送本数：毎月10～15本
- ・月刊中央会：8月号、1月号



## <取り組み内容>

### ③労働時間等説明会の実施状況

#### ◇熊本労働局

ア 九州運輸局熊本運輸支局において、労働時間設定改善指導員が新規トラック運送事業者に対し、労働時間等の労働条件について説明

令和3年	5月26日	3社	5名
	7月29日	4社	8名
	9月30日	6社	9名
	11月29日	2社	5名
令和4年	1月25日	3社	5名

イ 労働時間設定改善指導員がトラック運送事業者を訪問し、労働時間等の労働条件について調査をし、問題点について助言指導

10社 令和3年7月27日から令和4年2月10日までの期間で実施

#### ◇労働基準監督署

各労働基準監督署において、労働時間等の労働条件の説明会を実施

八代労働基準監督署	1回	71名
人吉労働基準監督署	1回	18名
天草労働基準監督署	2回	20名

1. これまでの振り返りについて  
…P2～4
2. 対象輸送分野（①加工食品、飲料・酒、②農産物）  
における取り組みについて  
…P6～9
3. その他取り組みについて  
…P11～13
4. 重点取組事項のP D C Aシートについて  
…P15～17





当該内容（微修正の可能性有り）にて  
国土交通省自動車局貨物課へ報告予定

## 令和3年度熊本県地方協議会重点取組事項PDCAシート

### ○ 加工食品、飲料・酒ガイドラインの周知及び農産物輸送効率化のため意見交換会の実施

#### ○重点取組事項概要

##### 【加工食品、飲料・酒】

荷待ち時間の発生件数が多く、国土交通省及び関係省庁でガイドラインを作成した「加工食品、飲料・酒」について、ガイドラインの周知及びアンケートを実施するとともに、アンケートの回答結果を基に選定した運送事業者、荷主等へのヒアリングを行うことによって、ガイドラインの周知、県内の現状・課題の把握を行う。

##### 【農産物】

熊本県は農業の一大生産地であり、令和元年度にも実証実験（イチゴのパレット化）を行っており、農産物輸送に関する行政機関・荷主団体においても輸送の効率化に取り組んでいることから、関係者による農産物輸送効率化のための意見交換会を開催し、次年度以降の実証実験の実施も含めて、情報共有・意見交換を行う。

#### OKPI

← Key Performance Indicator (重要業績評価指標)

##### 【加工食品、飲料・酒】

[1]ガイドライン発送事業者数 熊本県トラック協会食料品部会加盟事業者数を中心に100社以上

[2]アンケートの回収率目標 30%以上

##### 【農産物】

[1]意見交換会の実施回数目標 2回以上

当該内容（微修正の可能性有り）にて  
国土交通省自動車局貨物課へ報告予定

## ○重点取組事項の取組状況

### 【加工食品、飲料・酒】

熊本県トラック協会食料品部会加盟事業者を中心として112社へガイドラインを送付し、併せてアンケートを実施。アンケートの回収率は27.7%。

アンケートの主な結果としては以下のとおり。

①ガイドラインの認知度は低いが、活用率・活用可能性は高い(ガイドライン認知度20.8%、ガイドライン活用率80.0%、ガイドライン活用可能性68.4%)

②労働時間改善に対する着荷主の理解や協力の程度が低い(理解の程度が低い33.3%(発荷主8.3%)、協力の程度が低い41.7%(発荷主20.8%))

アンケート調査を基に運送事業者4社、荷主企業2社へヒアリング調査を実施。ヒアリングからは「加工食品輸送では川下から川上までの荷主それぞれにおける取引条件の見直しが必要である」こと等の実態を把握することが出来た。

### 【農産物】

JA熊本経済連、熊本県トラック協会、熊本運輸支局、九州農政局において農産物輸送効率化のために意見交換会を計2回開催。

構成員の取り組み内容の情報共有、共同配送・パレット化についての意見交換、次年度の実証実験についての意見交換等を行い、次年度の実証実験案としてトマトのパレット化輸送をとりまとめた。

### ◇KPI

[1]ガイドライン発送事業者数 熊本県トラック協会食料品部会加盟事業者を中心に100以上:発送事業者112社

[2]アンケートの回収率目標 30%以上:アンケート回収率27.7%

### 【農産物】

[1]意見交換会の実施回数目標 2回以上:令和3年度実施回数 2回(R3.11、R4.1)

## ○課題及び今後の対応の方向性

### 【加工食品、飲料・酒】

・運送事業者へのアンケート結果からガイドラインの現時点での認知度は低いものの、活用率・活用可能性は非常に高いことから、引き続きガイドラインの周知を行うことで運送事業者及び荷主企業への認知度の向上を図る。

・荷主企業への周知、アンケート等の実施を検討する。

### 【農産物】

・意見交換会でとりまとめた実証実験案に基づき、次年度トマトのパレット化の実証実験を行い、パレット化の効果、課題を検証する。

・検証結果を農産物全般でのパレット化検討の材料とすることも目指し、引き続き農産物輸送の効率化を図る。